

大会名：第4回 福島民報杯スポ少サッカー岩根大会 (U8)

日 程：平成 28 年 9 月 10 日 (土) ~11 日 (日)

会 場：本宮総合グラウンド

参 加：J2 クラス 8 名

帯 同：渡邊コーチ

対戦相手：

VS ブリジャン FC 1 : 1 △

VS 岩根 SSS 4 : 0 ○

VS 白沢 FC 1 : 1 △

VS 本宮 SSS 3 : 2 ○

結果：準優勝 (5 チーム中)

第4回福島民報杯スポ少サッカー岩根大会 (U8) に帯同しましたので、報告します。

J2 クラスも人数が増え、なんとか8人制サッカーが出来るようになりました。初めての8人制サッカー大会出場とあって、朝から選手たちは興奮状態でした。私自身、ここが日本ということ忘れてしまうくらい、言葉が通じない状態で驚きました。しかし、不思議なことにサッカーの話になると思考回路が繋がるのか、しっかりとした受け答えができる選手が多かったので、またしても驚きました。

今大会の約束事 (概要)

○団体行動

○攻めたら戻る。

団体行動は、概ね良好でした。ただ、仲が良すぎるのか少し目を離すと小競り合いが勃発していました。

次に試合についてです。ご父兄の皆様の暖かい心のお陰で選手たちは伸び伸びとプレーしていました。私の仕事は、試合前とハーフタイムに試合の約束事を確認し選手をピッチに送り込む。ピッチ上では、自分の思い通りにいかない状況に悪戦苦闘しながら一生懸命戦う選手たち。ピッチ外では、支離滅裂な発言が多いJ2メンバーですが、ピッチ上の創造性は目を見張るものがありました。まさしく、当クラブの理念である「ふれあいの創造」「チャレンジする場の創造」「夢の創造」を子供達が実践した2日間でした。特に、素晴らしかったことは状況に応じてプレーを変えていたことは本当に素晴らしいことだったと思います。

攻撃面：ボールを運ぶ手段として、ドリブルとパスを上手に組み合わせていました。

相手があまり激しくボールを奪いに来ないと感じるとドリブルで突破し、相手のプレスが厳しいと感じるとパスだけで攻め込んだり、前線の選手が疲れていると感じると自分たちでポジションを変え最終ラインの選手がドリブルで駆け上がったりと多彩な攻撃を見せてくれました。決定力に関しても全試合得点出来たので高かったです。

守備面：後ろを向いてトラップしている選手を簡単に前を向かせてしまいズルズルとボールを運ばれてしまうシーンがありましたが、ただどの選手もボールを奪われてからの切り替えが速くピッチの高い位置でボールを奪うことに成功していました。失点のシーンは、ヨーイドンで負けた場面でした。交代選手がいない状況のなか、全選手が2日間最後まで走りきった大会でした。試合中も弾ける笑顔を見せる選手たち。ドリブルやダッシュをしながら大声で仲間選手の名前を呼び合ったり、まだ1試合も戦っていないのに、なぜかユニフォームが濡れて、既に給水瓶の中身が空になっていたなど、楽しい時間をJ2選手たちと過ごすことができました。

改めて感じたことは、8歳には8歳のサッカー感があり、その感性は今でしか磨くことができません。私たち大人は、焦らず、優しく、大きな心で見守ることが大切なんですね。一人一人がもっているセンスを大切に、ゆっくり磨きあげたいと思います。

今年もお誘いいただき大会関係者の皆様、ありがとうございました。来年も引き続き、よろしくお願いします。

ご父兄の皆様、二日間、選手たちへの熱い応援ありがとうございました。引き続き応援をよろしくお願いします。

試合の振り返り

①ブリジャンFC戦 △ 1-1

間接フリーキックから得点に繋がりました。全員で最後まで一生懸命プレーしていましたが、後半に同点に追いつかれてしまいました。その後もワンツーなどで攻めていたのですが試合終了。

②岩根SSS戦 ○ 4-0

1試合目の反省を活かしナイスゲームでした。

③白沢FC戦 △ 1-1

先制点を許すも誰ひとり諦めることなく同点に追いつき、後半は相手チームの攻撃に対し全員で守り、カウンターを仕掛けましたが得点できず試合終了。

④本宮SSS戦 ○ 3-2

疲れからか本来の動きとは・・・でしたが、キーパーの位置を確認してボールを浮かせてからのシュートや、みんなが驚いたファインセーブなど、これまたナイスゲームでした。

コーチ：渡辺

